

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-517663(P2001-517663A)

【公表日】平成13年10月9日(2001.10.9)

【出願番号】特願2000-512822(P2000-512822)

【国際特許分類】

C 07 D 307/88 (2006.01)

【F I】

C 07 D 307/88

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 フタリド合成で得られる反応混合物からフタリドを回収する方法であって、

(a) 前記反応混合物中に、沸点がフタリドの沸点未満の化合物が存在する場合、それを前記反応混合物から蒸留し、搭底生成物として粗フタリドを得る工程、

(b) 前記粗フタリドの溶融物からフタリドを結晶化させる工程を含むことを特徴とする回収方法。

【請求項2】 前記結晶化が、結晶が成長する冷却表面で行われる請求項1に記載の回収方法。

【請求項3】 前記結晶化が、懸濁液結晶化として行われる請求項1に記載の回収方法。

【請求項4】 前記結晶化が、分別結晶化として、多段階で行われる請求項1~3のいずれかに記載の回収方法。

【請求項5】 工程(b)で得られた結晶を、さらに洗浄又は浸出により精製する請求項1~4のいずれかに記載の回収方法。

【請求項6】 工程(b)で得られた結晶を、さらに洗浄及び浸出により精製する請求項1~4のいずれかに記載の回収方法。

【請求項7】 前記反応混合物が、電解還元により得られる請求項1~6のいずれかに記載の回収方法。

【請求項8】 前記反応混合物が、溶剤、導電性塩、陽極復極剤、媒介物質又はこれらの混合物を含む請求項7に記載の回収方法。

【請求項9】 前記反応混合物が、フタル酸誘導体の均一触媒水素化により得られる請求項1~6のいずれかに記載の回収方法。

【請求項10】 前記反応混合物が、フタル酸誘導体の不均一触媒水素化により得られる請求項1~6のいずれかに記載の回収方法。